



**パブリックコメント 検討結果** **寄せられた意見の概要や市の検討結果をお知らせします**

下記の一覧表は、市民の皆さんからお寄せいただいた意見を要約し、市の考え方をまとめたものです。  
全文は、情報公開コーナー(両庁舎1階)・市HPでもご覧になれます。

◆道路建設課(☎042-438-4054)	
<b>【公表日】</b> 2月13日 <b>【募集期間】</b> 12月5日～1月5日 <b>【意見件数】</b> 7件(3人)	
寄せいただいた主な意見	検討結果
新五日市街道および田無駅から南へ延伸する道路の整備を進めるべき。(1件)	当該道路は東京都の第4次事業化計画において今後10年間(平成28～37年度)で優先的に整備すべき路線として位置づけられており、東京都などと協議のうえ事業化を目指します。
高速道路へのアクセスを改善してほしい。(1件)	東京都の第4次事業化計画において今後10年間(平成28～37年度)で優先的に整備すべき路線として位置づけられている西東京市都市計画道路3・3・14号線、3・4・13号線などを整備することで、アクセス性の向上が図られると考えます。
体系的な道路ネットワークの形成については、幹線道路以外の現道の利用状況を踏まえて考える必要がある。(1件)	日常的な交通利便性や安全性、快適性を確保するため、現道を活用した体系的な道路整備を進めます。
狭い道路では、交通安全対策として自動車の速度制限と自転車ナビマーク設置が有効。(1件)	自動車の速度制限と自転車ナビマーク設置などの交通安全対策は、現地の道路状況や、自動車・自転車・歩行者交通の実態を踏まえ、交通管理者と協議し検討します。
自転車は車両という考えに基づき、車道における自転車通行空間ネットワークづくりを推進すべき。(1件)	日常的な交通の安全性・快適性を確保するうえで自転車通行空間の確保の必要性を十分認識しています。
自転車通行空間については、幹線道路で「駅周辺に位置する道路」と限定しているが、駅周辺以外でも確保することを方針化してほしい。(1件)	本計画の26ページにおいて、幹線道路での整備内容について自転車通行空間の整備イメージを示しています。当該章における文中の表現内容を変更します。
「自転車走行空間整備推進計画」の策定が必要。(1件)	当該計画については、自転車走行空間の整備に向けた今後の検討課題と考えています。

◆ごみ減量推進課(☎042-438-4043)	
<b>【公表日】</b> 2月1日 <b>【募集期間】</b> 11月15日～12月14日 <b>【意見件数】</b> 0件	
ご意見はありませんでした。	

**寒さもあと少し!**

**冬のエコライフにご協力を**

家庭のエネルギー消費量は冷房よりも暖房の方が大きく、冬にエネルギーを賢く使えば、効果的な省エネが期待できます。

また冬は、昼間に電気を多く使う夏と違って、夕方から多くなります(ピークは午後5時～6時)。帰宅して料理を作ったり、お風呂に入ったりと一気に電気が使われる時間に家族みんなで協力すれば、ちょっとした工夫とアイデアで節電ができます。

◆環境保全課(☎042-438-4042)

**冬の電気使用量トップ5**

(暖房にエアコンを使用する場合)

- 1 エアコン 2 照明 3 冷蔵庫  
4 テレビ 5 電気カーペット  
(資源エネルギー庁推計)



**家庭での取組例**

- 暖房時の室温目安は22℃
- 電気カーペットの下には断熱マット
- 外出や就寝の20分前を目安に暖房器具をオフ
- 服の重ね着
- 厚手のカーテンやじゅうたん、窓ガラスに断熱シートなどでひと工夫
- 家族や友人と一部屋に集まりだんらん
- 公共施設などで運動や読書を楽しむ
- 白熱電球はLED電球に取り替え

**市内の犯罪状況(平成28年)**

平成28年は前年に比べ侵入窃盗が大幅に減少していますが、特殊詐欺(振り込め詐欺など)は依然として多くの方が被害に遭っており、被害額は約9,000万円でした。

また、子どもに対する犯罪が増加しており、年間を通して声掛け事案などの犯罪に発展する恐れのある前兆事案も発生

しています。日頃から地域の環境を整え、お互いにあいさつしやすい環境づくりを進めて「犯罪のない安全なまち西東京市」を皆さんで作っていきましょう。

問 田無警察署  
(☎042-467-0110)

◆危機管理室(☎042-438-4010)

**シリーズ 庁舎統合方針**

2

市では庁舎統合に向けた取組を進めています。平成28年12月には、庁舎統合に向けた第一歩として暫定的な対応方針を当面の方策とする「庁舎統合方針」を決定しました。

市報1月15日号でお知らせしたところですが、市民の皆さんに庁舎統合への関心を高めていただくとともに、全市的な議論につなげるための情報提供として、庁舎統合方針の内容を連載

しています。

**◆保谷庁舎機能の再配置に向けた課題**

**□保谷庁舎の窓口**

保谷庁舎敷地側での窓口については、保谷庁舎での対応件数や各所管の臨時窓口の開設状況、市民課総合窓口の取扱業務の見直し、さらには移動手段なども含め、利便性や必要な市民サービスの確保の観点から検証していきます。



**□保谷庁舎敷地の窓口機能**

項目	現行	暫定的な対応方針
健康福祉部	部を配置	⇒田無庁舎の相談窓口を移転(防災・保谷保健福祉総合センターに配置)
健康課	課を配置	⇒現行と同じ
市民課総合窓口	保谷庁舎に配置	⇒現行と同じ(防災・保谷保健福祉総合センターに配置)
その他の窓口		⇒利便性や必要な市民サービスの確保の観点から検証

**□防災・災害対策機能**

緊急時の全庁的な対応については、地域防災系防災行政無線の設置により一定の連絡手段は確保していますが、田無庁舎敷地側に新たに配置される組織を踏まえ、テレビ会議を含めたICTの活用による災害対策本部との情報共有の方策など、災害対策本部の円滑な運用について改めて検証します。

**□田無庁舎の窓口**

具体的な窓口機能の配置については、業務の連携といった視点を踏まえると

ともに、来庁者の利用動線やバリアフリーなどに配慮し、効果的・効率的となるよう検討します。

**□保谷庁舎の跡地活用**

保谷庁舎跡地については、今後、統合庁舎の位置を検討・決定することから、総合戦略や公共施設等総合管理計画に基づき、暫定的な跡地活用を含めて検討します。最終的には、保谷庁舎敷地にある他の公共施設の更新も見据えた跡地活用案を改めて検討します。

◆企画政策課(☎042-460-9800)

**感謝状を贈呈しました**

1月18日・25日に、寄附や保存樹木の所有など市政へご協力いただいた方々に感謝状を贈呈しました。(敬称略) ◆秘書広報課(☎042-460-9803)

**□1月18日開催**

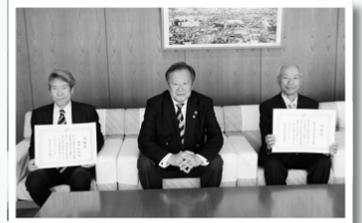
氏名・団体名	市政協力内容
本橋 好昭 加藤 民幸 高田 進 高田 長兵衛 貫井 正彦 小林 喜明 蓮見 昌男 小林 廣一 榊山 弘子 片井木 正清 保坂 ふじ子 小菅 豊太郎 安藤 元善 堀川 武久 (独)都市再生機構 東日本賃貸住宅本部 北多摩住宅管理センター 新柳沢団地管理組合 他、33人・1団体	市政協力 (長年にわたる保存樹などの所有)

**□1月25日開催**

氏名・団体名	市政協力内容
東京みらい農業協同組合	金員寄附
西原自然公園を育成する会	物品寄附
横澤 利昌	市政協力 (個人情報保護審議会委員・会長)



1月18日贈呈式



1月25日贈呈式

**□市内の指定重点犯罪認知件数(田無警察署集計値)**

平成28年12月末時点

	平成27年	平成28年	増減
強盗	2	2	0
ひったくり	5	6	+ 1
侵入窃盗	82	50	-32
自動車盗	4	7	+ 3
性犯罪	7	8	+ 1
子どもに対する犯罪	2	6	+ 4
特殊詐欺	30	31	+ 1
被害金額	約1億1,000万円	約9,000万円	-約2,000万円